

令和3年度

校長室だより5月号 No.2

宝達志水町立押水第一小学校 R3.5.25



コロナウイルスに係る緊急事態宣言が石川県でも発令されました。学校は休校こそしていませんが、子どもたちが楽しみにしていた運動会を取りやめにせざるを得なかったことなど、かなり窮屈な学校運営をしています。今後も「コロナとどう共生するかを考えざるを得ない」状況にある中、子ども達には長い間、不便な思いを強いることになり申し訳なく感じています。また、父母の皆様やご家庭の皆様には子ども達に辛抱強く寄り添ってくださり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

病院等で感染のリスクを背負いながらも、治療に当たっている医師の方々や看護師さんにはお礼の言葉しか考えられません。医療関係者に限らず、厳しい状況の中、人のために汗を流してくださっている全ての方々に感謝しつつ、今学校でできることを精一杯させていただきたいと思います。

さて、人間は不安になると「嫌悪・偏見・差別」が大きくなると言われます。ウイルス自体は見えない物なのに、見える「人・地域・職業従事者」などを排斥することで、見せかけの安心を手に入れようとしみます。しかし当然のことながら、見せかけの安心は人の弱さに付け込んで拡散していきます。弱い者イジメと同じ原理です。正しい認識に基づいた科学的な事実をよく見、よく聞き、よく確かめて行動しなければ、自分ばかりでなく、がんばっている人まで不幸にしてしまいます。

こういう時だからこそ、私たちは、まず自分自身を律する心を保つべきだと思います。この危機を乗り越えるためにがんばっている人たちをねぎらい、敬意を払い、感謝の気持ちを表すことで、この厳しい状況をみんなで乗り切っていくことができると思います。

いずれ楽しい学校生活がやってくる。…皆さん、がんばりましょう。

学校園を整備しています。

校門からの坂道を4, 5メートル上ると学校園があります。昨年度同様、今年も理科の授業に必要な作物と子どもたちが喜びそうな夏野菜を植えたいと思います。

そこで、今年も全校児童が楽しんで栽培活動ができるよう畑の整備をしました。各学年で収穫できる夏野菜を育てながら、自ら育て収穫し味わう体験活動ができるといいなと思います。

何分、畑仕事は素人の教員集団ですので、地域の方々のお知恵を頂きながら活動できればいいと思っています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、学校の職員や児童が何か質問をしてきた折には、どうかよいお考えを授けてやってください。

今のところ、イチゴがこれから食べごろです。また6年生が植えたジャガイモも順調に育ってきています。2年生が生活科で植えたナス、トウモロコシ等も棚を作って整備されています。今後は、1学級にスイカの苗を配付し育てて夏に食べることで栽培活動に親しむことができるようにしていきたいと思っています。



夢を生む学校園として1年、1年、成長していくことができればいいなと思っています。

登下校時のお願い

最近、雨の日が続いています。保護者の皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

雨天の日はどうしても運転する方からすると視界が悪くなります。歩行者の方も雨具を使用している関係で当然普段の見え方とは異なります。

雨の日になると、保護者の皆様がお子さんを送迎することが多くなりがちになります。雨天の日の送迎には十分に気をつけてください。また、事故防止のため、お子さんは学校の坂道の手前、校門付近で下車し、そこから学校の玄関までは歩かせるようご配慮していただくと助かります。

よろしく願いいたします。

※ この記事はホームページにも掲載しています

今年度も自学ノートの日を取組を続けています。



毎週金曜日は自学ノートの日です。級外の先生が分担して各学年の自学ノートを点検する日です。メンバーは、校長、教頭、山崎先生、山下先生で分担して行います。

昨年度は、卒業した6年生が学年賞の常連でした。6年生の牙城を崩して何とか下克上を成し遂げようと下級生が頑張りました。3年生が教頭先生から自学ノートで褒められることを夢の木に掲げ努力した結果、学年賞をゲットし、その勢いで他学年も次々に学年賞を獲得できるようになってきました。

個別的にも、図や線分図、グラフ、表、イラストを交えたノートが増え、学習の仕方を工夫しているなど、思える書き方ができる子がだんだん多くなってきました。今年度も自学ノートの取組を続けています。今年度の担当が上杉先生です。友だちの良いところをどんどん取り入れ素敵な自学ノートを書くことができるようにと願っています。

前は、2年生が学年賞をゲットしました。学習の密度が濃く、ページ数の多いノートが数冊ありました。文句なしの学年賞でした。また、1年生が自学ノートをスタートしていないのに何ページも書いてきた子が一人いて、これまた驚きました。今年も子どもたちの頑張りがたくさん見ることができそうでとても楽しみです。



朝の読み聞かせ



25日(火)は、読み聞かせの日です。担任の先生やボランティアの村上先生が教室で素敵な絵本の読み聞かせをして下さいました。

子どもたちは身を乗り出したり、時折、先生の話に大きくなずいたりしながら聞き入っていました。このような活動が、読書好きの子どもが増え、読書冊数も多くなってくれることを願っています。これを機会に、ご家庭での読書の習慣を身に付けて頂ければ幸いです。低学年の時は、親御さんが読んで聞かせて頂ければいいと思います。学年が進むにつれて読む本も違ってきますので、親御さんが読み聞かせることは難

しくなりますが、お子さんと一緒に読書をする時間を見つけて行っていただければいいなと思います。スマホ、ゲームの時間を少しでもそういった時間に充ててもらえるとよいと思います。

1年生はすごい、素晴らしい

毎年そう思うのですが、この時期の1年生は学校生活をとても楽しんでいます。今年の1年生も例年以上に学校生活を楽しんでいます。6年生のお世話係が必要ではないくらいに勝手に学校中を動き回って楽しんでいます。

昨年度の3月に新設した雲梯を1年生が上手に使いこなしています。進行方向との角度を90度に構え、しかも1段とばしにぶら下がり、遠心力で体を左右に揺らしながら次の次の段まで手も伸ばし見事にキャッチします。つまり1段飛ばしでまた乗り移ります。本当に見事です。1年生の技とは思えないくらい見事です。

また、今日は朝の会を見に行ってきましたが、司会者の進行のしかたも、それに従う子どもたちも会の流れを意識した振る舞いができていました。何日か前に、先生が授業に遅れていった時に子どもたちだけで音読の授業を進めていたと聞いています。おそらく先生の教えを守って、朝の会がきちんとできているから自分たちだけで授業ができるのかなと思いました。

今後の活躍に期待するばかりです。



写真 : 朝の会をする1年生

26日、27日は学力調査の日です。

5月26日(水)は石川県基礎学力調査が、27日(木)は、全国学力・学習状況調査を実施します。目的は、文部科学省の言葉を引用すると以下の通りです。

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、県レベル、全国レベルでの児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立たせる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

本校でも以上の主旨に基づいて学校運営の改善に生かしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。